

出展者と観る

『テキスタイル・アートを楽しむ 現代の糸、布、繊維の芸術』展

3つの視点が
1つの場所で
響き合う

藝術

岡本直枝さん
と観る
「テキスタイル・
アートを楽しむ」展

工芸

中野恵美子さん
に訊く
テキスタイル・
アート誕生の物語

建築

西崎寿志さん
と巡る
館内ツアー・
設計趣旨の解説



群馬県立館林美術館

2026.12.13 (日) 13時-17時 (受付開始 12:45)

会場 群馬県立館林美術館 (群馬県館林市日向町2003)

参加申込 | Peatix <https://peatix.com/event/5220937>

※詳細スケジュールは参加確定者に個別にご案内いたします。

主催 一般社団法人 日本建築美術工芸協会 aaca

第214回aacaフォーラム

出展者と観る「テキスタイル・アートを楽しむ 現代の糸、布、繊維の芸術」展

第214回aacaフォーラムは、群馬県館林へと繰り出します。

テキスタイルは、私たちの暮らしに身近な「糸」「布」「繊維」を素材としながら、素材の選択、手仕事の技法、時間の積み重ねによって、多様な造形表現へと展開してきました。本展では、現在活躍する11名の作家が、それぞれの素材と向き合い、「織る」「編む」「縫う」「染める」「縮める」などの技法から生み出した作品が紹介されています。

本フォーラムでは、本展に出品する会員の岡本直枝さんの案内で作品を巡り、作家自身の言葉を通して、素材が表現へと変わる過程や制作の背景、思考に触れます。さらに、aaca常務理事の中野恵美子さんをお迎えし、「テキスタイル・アート誕生の物語」と題して、その歴史的・文化的背景を紐解いていただきます。また、第一工房（現・事務所閉鎖）の主設計担当者であった西崎寿志さんに館内をご案内いただき、設計趣旨などについてお話しいたします。

素材、技法、身体、時間、空間の関係からテキスタイル・アートを捉え直し、建築・美術・工芸の境界を越えた表現の可能性を考えます。作家の言葉や作品、参加者同士の視点が交わり、互いに「共鳴」することで、ご自身の専門や関心を越えた新たな発見や気づきが生まれる場になることでしょう。

「集合場所」 群馬県立館林美術館 エントランスホール

群馬県館林市日向町2003 [群馬県立館林美術館 ホームページ](#)

「日 時」 2026年12月13日（日） 集合13:00（受付開始 12:45） 終了17:00頃（予定）

※ 詳細スケジュールは参加決定者に個別にご連絡差し上げます。

「案 内」 西崎寿志さん および 中野恵美子さん／岡本直枝さん（フォーラム委員）

「定 員」 30名（**先着順** 定員になり次第締め切ります。）（ネット配信は行いません。）

「会 費」 個人会員特典バウチャー制度【個人会員1,000円／回（年度内3回まで）】利用可能です。

aaca会員（バウチャー制度 利用なし） 1,500円

aaca会員（バウチャー制度 利用あり） 500円

一般 2,500円

※参加費とは別に美術館入場料（850円）が必要です。

※キャンセルの場合、参加費の返金ができません。ご了承ください。

「申 込」 参加を希望される方は下記のURLまたはaacaのHPからPeatixにて12/6（日）までに申し込み手続きを行ってください。

下記QRコードを読み取ることで申し込み用のWebページ（Peatix）にアクセスできます。

バウチャー制度を何回利用したかが不明の方は、aaca事務局までお問い合わせください。

<https://peatix.com/event/5220937>



「問合せ」 一般社団法人 日本建築美術工芸協会 simpo@aacaijp.com



岡本直枝（おかもと・なおえ）
テキスタイル造形作家

日産自動車でデザイン業務に従事後、武蔵野美術大学大学院でテキスタイルを学ぶ。植物の生命力や「場の力」をテーマに、フェルトや織など多様な繊維素材・技法による平面・立体作品を国内外で発表。女子美術大学非常勤講師。aaca会員。



中野恵美子（なかの・えみこ）
織造形作家

克蘭ブルック・アカデミー・オブ・アートMFA修了、東京造形大学テキスタイルデザイン専攻修了。1970年代より繊維を素材とした造形表現に取り組み、国内外で作品を発表。東京造形大学などで教鞭をとる。aaca常務理事。



西崎寿志（にしざき・ことし）
建築家

1964年滋賀県生まれ。大阪芸術大学建築学科卒業後、1990年第一工房入所。群馬県立館林美術館では設計及び監理を主任担当。2004年に西崎寿志建築研究所を設立。住宅・建築の設計監理、既存建築の保存改修など幅広く手がける。一級建築士。